



2021年11月12日

各位

会社名 日本郵政株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 増田 寛也
 (コード番号: 6178 東証第一部)
 問合せ先 IR室 (TEL. 03-3477-0206)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

2022年3月期連結業績予想数値(2021年4月1日~2022年3月31日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,600,000	百万円 730,000	百万円 340,000	円 銭 88.91
今回修正予想(B)	11,150,000	920,000	480,000	125.52
増減額(B-A)	550,000	190,000	140,000	
増減率(%)	5.2	26.0	41.2	
(参考)前期実績 (2021年3月期)	11,720,403	914,164	418,238	103.44

注 前回発表予想(A)における「1株あたり当期純利益」は、2021年8月11日公表したものであり、2022年3月期第1四半期における2022年3月期の予想期中平均株式数に基づき算出

2. 通期連結業績予想の修正の理由

当社の通期連結業績予想値につきましては、日本郵便において、郵便・物流事業におけるコストコントロールの取組、国際物流事業におけるフォワーディング事業の好調等足元の事業環境を踏まえると、各事業の営業利益が想定を上回る見込みとなったこと、また、ゆうちょ銀行においても、直近の市況等を踏まえると、資金運用業務で保有する外債投資信託の収益に加えて、プライベートエクイティファンドの収益も想定より増加する見込みとなったこと等から、上表のように修正いたします。

なお、配当予想の修正は行いません。

以上

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響、金利の変動、株価の変動、為替相場の変動、保有資産の価値変動、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。